

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-4
文化財の保存・継承と活用

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

文化財課長 萩 雅人

電話番号

0852-22-6468

事務事業の名称	歴史遺産保存整備事業	
目的	(1) 対象	県民、文化財所有者、保持団体
	(2) 意図	文化財の滅失や損亡を防ぎ、将来に確実に継承していく
事業概要	1. 国・県指定文化財の保存のための修理を促進するため、指定文化財所有者または市町村に対して、保存に要する経費に対して助成する。 (補助率 国指定文化財：国庫補助残額の1/2～1/3以内、県指定文化財：対象経費の1/2～1/3以内) 2. 国指定文化財所有者に対して、防災（防火・防犯）設備の適切な管理を行ってもらうために、管理経費の一部を助成する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 補助要望充足率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義 助成採択件数/助成要望件数	取組目標値						
		実績値	100.0	100.0	100.0			
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	100.0	100.0	-	-	
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	138,957	127,924
うち一般財源 (千円)	134,854	126,255

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

国指定・選定文化財、県指定文化財の保存修理・整備は着実に進んでいる。

○平成29年度で事業が完了したもの 出雲大社本殿ほか22棟保存修理、重要文化財櫻井家住宅主屋ほか3棟保存修理

○継続して事業実施しているもの 菅田庵及び向月亭ほか1棟保存修理・整備、菅谷たたら山内保存修理、津和野藩校養老館保存修理など

○平成30年度から事業開始及び予定のもの 旧大社駅保存修理、並河家住宅保存修理など

6. 成果があったこと（改善されたこと）

松江城、出雲大社、津和野養老館など島根県を代表する文化財の保存修理が行われ、将来へ確実に引き継いでいくことが可能となった。さらに保存修理が終了した文化財については、それを活用した観光振興や、地域の活性化が図られている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

なし

②困っている状況が発生している「原因」

なし

③原因を解消するための「課題」

なし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

文化財保存修理事業は着実に進んでいるが保存対策が必要な文化財も多く残っている。文化財によっては事業費が多額になるものもあり、限られた予算で対応していくため、年度ごとの事業費の偏りが生じないよう随時市町村と情報を共有し計画的に実施できるよう努める。